| 授業科目名・形態 | 看護コミュニケーション　　講義 | 必修・選択の別 | 必修 | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 黒澤　繭子 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ２年後期 |
| 科目ナンバリング | N4-2003npmht | | | | |

**【授業の主題】**

コミュニケーション技術は、患者や家族へ望む看護を実践するため、他の看護職者、医療職者、連携する各職者と良好な関係を築くために欠かせない技術である。この授業を通じて自己のコミュニケーション能力を振り返り、看護技術としてのコミュニケーション技術を学習する。

**【到達目標】**

1. 看護におけるコミュニケーションの特徴と重要性を理解する
2. コミュニケーションの基本的な方法について理解し、実践する
3. コミュニケーションに障害がある人の特徴に応じた対応を理解する

**【授業計画・内容】**

第 1 回　看護コミュニケーションの特徴
第 2 回　相手のメッセージ受けとめる・事例を読んで考える
第 3 回　障害に応じたコミュニケーション
第 4 回　相手を知る・看護におけるコミュニケーション上の問題
第 5 回　ロールプレイングとプロセスレコード(1)概要と準備
第 6 回　ロールプレイングとプロセスレコード(2)実施
第 7 回　現実の場面から探る看護コミュニケーション
第 8 回　ロールプレイングとプロセスレコード(3)再実施・評価

**【授業実施方法】**

毎回グループワーク、リアクションペーパーの記入を実施する。
第6・8回はロールプレイング・プロセスレコード記入を実施する。

**【事前・事後学習】**

リアクションペーパー、プロセスレコード、レポート作成等を含め計 60 時間程度の自主学習を行うこと。

**【主な関連する科目】**コミュニケーション論、看護過程論

**【教科書等】**

大森武子、矢口みどり：新版　看護のコミュニケーション･センス、医歯薬出版株式会社、2024.

**【参考文献】**

茂野 香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第19版、医学書院、2023.
諏訪茂樹：看護のためのコミュニケーションと人間関係、中央法規出版、2019.

**【成績評価方法】**

提出課題（95%）、授業への取り組み姿勢（5%）により総合的に評価する

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

総合病院での臨床看護の経験がある。看護の基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

**【学生へのメッセージ】**

早期体験実習および基礎看護実習を通して、患者や患者の家族・看護師・医療従事者らとのコミュニケーションは欠かせないものであることを実感できたと思う。この授業では自分のコミュニケーション技術を振り返り、看護技術としての必要なコミュニケーション能力を身につける契機としてほしい。